

## 特集 学生の研究活動報告—国内学会大会・国際会議参加記 25

### グローバル人材育成プログラム に参加して

寺島 鈴香  
Suzuka TERASHIMA  
数理情報学科 3年

#### 1. はじめに

私は2016年8月11日～29日までアメリカのサンフランシスコに行ってきました。そして15日～26日の二週間、サンフランシスコのJapan townで研修をさせていただきました。

#### 2. 参加したきっかけ

私は海外が大好きで、海外の街並みや目が合っただけで微笑んでくれる外国人の人柄、日本にはない景色や食べ物にすごく興味がありました。また、教員を目指すうえで、アメリカと日本の教育の違いを知りたいと思いました。この研修に参加することによって英語力の向上や、言語が通じない国での体験を通して自信をつけたいと思い、このプログラムに参加しました。

#### 3. 実習先について

実習先の Nihonmachi little friends はサンフランシスコの日本町に位置する民間、非営利の保育園であり、日本語と英語のバイリンガル教育を通して多文化な教育環境を提供しています。質の高い教育により、子供たちに自信を持たせ、個性を大切にす気持を育成しています。また、子供たちにポテンシャルを最大限に引き出すために、保育士と、園児、園児の家族とが一体となって子供たちの教育を促進しています。

#### 4. 実習内容

午前中は保育園で実習を行い、午後からは小学生の宿題の補助を行いました。午前中のタイムスケジュールは次の通りです。

10:00～ 外で自由時間

11:00～ おやつ

11:30～ グループ学習

12:30～ お昼ごはん

13:30～ お昼寝

保育園では園児と一緒に遊ぶことや、おやつ、お昼ご飯の補助などを主に行いました。そして、私はお昼ご飯と一緒に食べ終わる13:30頃から小学生のアフタースクールに移動し、次のようなタイムスケジュールで実習を行いました。

14:00～ 宿題の補助

15:30～ おやつ

～17:00 自由時間

曜日によって少し違いはあるものの、基本的には毎日このタイムスケジュールで行いました。

#### 5. 日本とアメリカの教育の違い

研修中に担当の先生から日本とアメリカの教育の違いについて詳しくお話しをいただきました。アメリカでは子供たちから疑問を投げかけられたとき、すぐに先生がその答えを言うのではなく、どうなっていると思う？ と逆に疑問で返す、というものでした。例えば、子供たちに「ボールの中にはなにがはいつているの？」と聞かれると、「何だと思う？」と聞き返します。すると子供たちは「ボールを切ってみたい」となるのです。そして、ボールを切るには、何で切ればいいのか、どのボールを切るのか、などの疑問が子供たちからはどんどん出てきます。こうして、子供たちが自分たちで自分の疑問を解決することによって、子供たちの想像力を育てているのだといいます。ここではそういった子供たちの疑問に疑問で返すことによって、また新たな疑問が生じ、その疑問についてまた考えるといったことをして、一つの疑問に対して長い時間をかけるそうです。私はこの話を聞いて、だからアメリカでは小さい頃から想像力を豊かにする教育を受けてきているので、Facebook や iPhone といったアイデアが出てくるのだと思いました。日本ではすぐに先生た

ちが答えを返し、覚えることを重点的にやっている  
ので昔ながらの伝統工芸や職人技といった決められ  
たことを変えないといったものが世界で有名になる  
のだと思いました。

## 6. 実習中に感じた事

幼稚園にいた子供たちの中には英語だけではなく  
日本語も話せる子も多く、たいへん刺激を受けまし  
た。私は英語が全くと言っていいほど話せないのに  
対して、まだ3,4歳の子が英語と日本語を使い分け  
ていたことは驚きを感じました。子供たちから話し  
かけてくれても、その英語がよくわからない、こと  
が多々あり、子供たち同士で喧嘩をしたり、泣いて  
いる子がいても話を聞いてあげることや、注意する  
こともできず、最初はすごく落ち込みました。しか  
し、朝保育園に行くと話をしてまともに話すこと  
ができない私に、抱き着いてきてくれる子もいて、  
私になついてくれたことから、言葉が通じなくても  
心が通じ合えることを感じました。アフタースク  
ールでの、子供たちの宿題の補助では、英語で書か  
れている問題を読むことが大変でした。子供たちが私  
を信頼して質問をしてくれても、英語で書かれた問  
題の意味がわからないことが何回もありました。問  
題を解くことができて、それを英語で教えるとい  
うことにも苦戦し、結局ほかの先生のところに質問  
に行かせてしまうという二度手間を子供たちに何度  
もさせてしまいました。そんなことがあっても私に  
何度も質問をしに来てくれる子がたくさんいて、頑  
張らなくては、という思いが日に日に強くなってい  
きました。気持ちが落ち込んでいても、子供たちが  
遊びにたくさん誘ってくれるので子供たちからたく  
さんの元気をもらい、実習をやり遂げることができ  
ました。

## 7. 実習を終えて

私はこの研修で英語力を身に付けることの大切さ  
はもちろんのこと、言葉が通じなくても身振り手振  
りや表情で自分の気持ちや考えを伝えることの大切  
さを知り、また、子供たちとの関わりにおいては、  
ほめることと注意することの大切さを知ることでた  
くさんのことを学ぶことができました。私は高校の  
教師を志望していますが、小学生または未就学の小  
さい子たちと接することによってまた少し違う教育方  
法を知ることができました。英語でコミュニケーション  
をとらなくてはならない環境の中で子供たち  
と、気持ちが通じ合えたことは私にとって大きな自  
信につながり、良い経験になりました。伝えたいこ  
とがなかなか伝えられないことが多く、どのよう  
にすれば子供たちに伝わるのかをたくさん考え、たく  
さん悩みました。それがきちんと伝わっていたのか  
はわかりませんが、研修最終日に子供たちに言っ  
てもらった「Thank you」という言葉を聞いて、伝わ  
っていたのだなと実感しました。大好きな海外で、  
将来なりたいと思っている教育関係の仕事を経験で  
きたことは私の将来に大きな影響を与えたと思いま  
す。これからは海外に行きたいという気持ちがより  
一層強くなったので、今できることは英語の勉強だ  
と考え、英語の勉強に力を入れていきたいと思っ  
ています。

## 8. ホームステイ

私は今までにホームステイの経験がなく、初めて  
のホームステイということで緊張と不安でいっぱい  
でした。しかし、ホストファミリーの方はとても優  
しく、休みの日は買い物や観光地に連れて行って  
くれました。英語が苦手で自分の思っていることをす  
べて言葉に表すことが出来ませんでした。なので、  
これからしっかり勉強して次ホストファミリーに出  
会えた時に英語の勉強の成果を出すことが出来たら  
いいなと思います。